

ポスターのデザイン術 ver.3

120pt

神戸大学附属中等教育学校 NN回生 山本拓弥

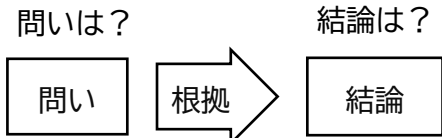
60pt

①ポスター作成の準備

見通しを持って作業を効率化

A 研究内容の整理

あなたの研究の構造は？



根拠はいくつ？ 根拠の関係は？
同じ重要さ？ 並列？段階的？

あなたの研究の面白い所は？

あなたにとって思い入れがあることは？

テーマに選んだ〜〜が好きだ！
〜〜の方法を工夫した！
〜〜の結果が意外だ！



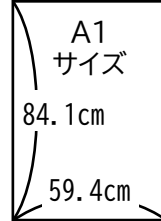
他の人にとって意義が伝わることは？

〜〜が解決できる
〜〜の役に立つ
〜〜ができるようになる

B デザインの基本設計

40pt

ポスターサイズを設定



パワーポイントの場合
「デザイン」
→「スライドのサイズ」
→「ユーザー設定のスライドのサイズ」
スライドのサイズ指定で
『ユーザー設定』 A1サイズなら
幅を『59.4 cm』、高さを『84.1 cm』

32pt

使用フォント / サイズ

タイトルはゴシック体 研究タイトル 60~120pt
メイリオ 游ゴシック 項目タイトル 40~ 60pt
BIZ UDゴシック 本文 30~ 40pt
本文は明朝体
游明朝 BIZ UD明朝

使う色のルール

テーマカラー ● タイトル ● 基本文字色
強調文字色 ● 事前に配色決定 ● 背景色

この4色を決めると統一感が出る

①レイアウトを決める

レイアウトは最初に伝わる情報

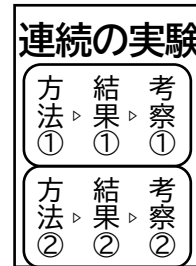
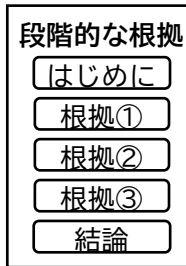
A 伝わりやすいレイアウト B レイアウトの例

研究の論理構造と対応

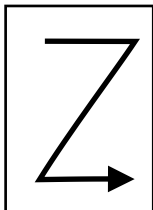
研究の流れは
レイアウトでも伝えられる

伝えたいところが目立つ

思い入れ/意義を
最初に目につくところに

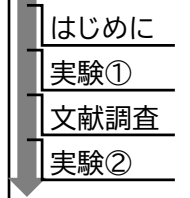


Z型の視線移動

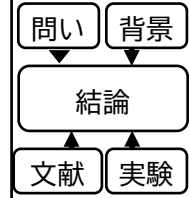


ポスターは
最初に上
その中で左
から読まれる

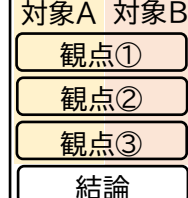
流れを主張



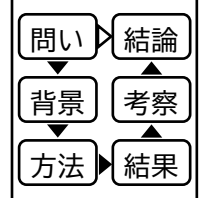
結論重視



2つの比較



配置を工夫



要約

内容面での検討

研究内容の整理

構造・面白さ

を明確化

構造と面白さを伝えるために

ポスターの作成

- ①レイアウトを決める
- ②まとまりを視覚化する
- ③メリハリをつける
- ④映えるテクニック

大枠で全体の印象を決める

美は細部に宿る

②まとまりを視覚化する

ひと目で伝わるように

ダメな例

続けて書く

× タイトルA
本文A本文A
本文A本文A
タイトルB
本文B本文B
本文B本文B

A 内容のかたまり

枠で囲む

○ タイトルA
本文A本文A
本文A本文A
タイトルB
本文B本文B
本文B本文B

間隔

○ タイトルA
本文A本文A
本文A本文A
タイトルB
本文B本文B
本文B本文B

B 階層構造

インデント

○ タイトルA
本文A本文A
本文A本文A
タイトルB
本文B本文B
本文B本文B

タイトルを目立たせる

○ タイトルA
本文A本文A
本文A本文A
タイトルB
本文B本文B
本文B本文B

○ タイトルA
本文A本文A
本文A本文A
タイトルB
本文B本文B
本文B本文B

③メリハリをつける

普通の文と強調文の差が重要

A アピールポイントを目立たせる

○ 太字

背景色

×

下線

枠囲み

文字色

白抜き

全部乗せ

※最大で3要素程度

ナナメ サイズ大

B 目立たせる情報は絞る

× 大事 重要

根幹 肝要

大切 肝心

どれに注目？

○ 大事 重要

根幹 肝要

大切 肝心

これに注目！

④映えるテクニック

細かな工夫を積み重ねると、劇的な違いが

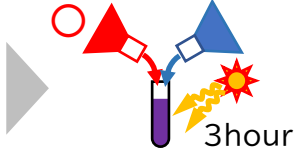
文字を減らす

× ~~~~することができると考えられる

○ ~~~~可能

イラストの活用

× 赤色の溶液と青色の溶液を試験管に混ぜ合わせた上で、3時間直射日光にさらす。



枠線の色を消す

×

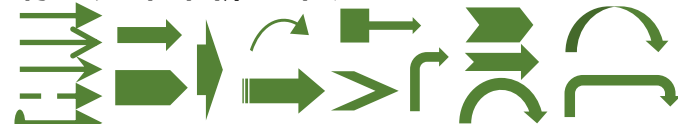
○

余白を作る

× 余白は大事

○ 余白は大事

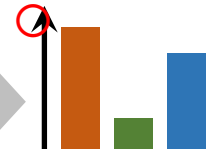
多様な矢印・図形の利用



図表の活用

× Aの値は50で、同様にBは15、Cは40であった。

A	50
B	15
C	40



ラインを揃える

×

○
※「整列」機能が便利

グレーの活用

○
他の色を邪魔しない
このポスターでも多用